



五所川原市の決算



「財政」や「決算」という言葉を聞くと「なんとなく難しそう…」と感じていませんか？
そんな難しそうな決算を簡潔にご説明します！

令和5年度は
約20.1億円の
黒字決算!!

歳入

市税	54.3億円
負担金、使用料等	3.9億円
財産収入、繰入金	15.6億円
寄付金、諸収入等	13.9億円
繰越金	0.7億円
地方交付税、各種交付金	139.6億円
国庫支出金、県支出金	99.1億円
市債	19.5億円
合計	346.6億円

歳出

人件費	33.4億円
扶助費	97.5億円
公債費	45.9億円
物件費	44.3億円
維持補修費	6.0億円
普通建設事業費等	16.9億円
繰出金、補助費等	76.6億円
積立金	5.9億円
合計	326.5億円

*数値は令和5年度普通会計決算額

歳入

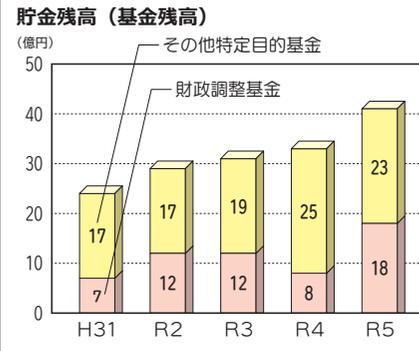
歳入は、市税などの「自主財源」と地方交付税や交付金などの「依存財源」に分けられます。五所川原市では、使い道が広い自主財源が少なく、依存財源に頼らざるを得ない状況です。令和5年度歳入総額は前年度より約6億円減額しました。理由として、市の貯金である財政調整基金などの繰入金を減額したことがあげられます。

歳出

歳出のうち、人件費、扶助費、公債費の3つが義務的経費と呼ばれ、これは簡単には削減することができない経費です。令和5年度は前年度に比べて扶助費が約8億円増額しましたが、歳出総額は約9億円減額となりました。減額理由の一つとして、例年に比べ降雪量が少なかったことにより、除排雪事業に要する経費が大きく減額したことがあげられます。



Q 市の貯金はどれくらいあるの？ (H31～R5)



A 令和5年度末では、基金（市の貯金）残高は約41億円になりました。

主な基金の使い道

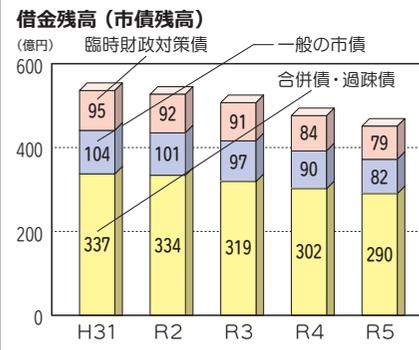
- 大雪に対応するための除排雪経費
- 突発的な災害発生に伴う災害復興費



基金は全体的に増加傾向で、一般家庭での貯金にあたる財政調整基金は、昨年が暖冬だったこともあり、前年度に比べて増額しているよ。



Q 市の借金はどれくらいあるの？ (H31～R5)



A 令和5年度末では、市債（市の借金）残高は約451億円になりました。

主な市債の使い道

- 公共施設の建設、改修工事
- 道路の改良や橋の架け替え工事



行政の借金は、今の市民だけでなく未来の市民にも負担してもらえるように、毎月の生活費ではなく住宅ローンのような将来にわたって使い続ける大きな費用のために使っているよ。



Q 総合的な財政状況は？



A 歳入については、人口減少等による税収や地方交付税の減少が見込まれる一方、歳出については、社会保障経費をはじめとする扶助費の増加や物価高騰の影響が見込まれます。このような状況を見据え、新たな財源の確保や事業の効率化はもちろんのこと、計画的な基金の積立や市債の新規発行抑制により持続可能な財政運営を行います。



詳細は、市ホームページを確認してね！



財政課ホームページ <https://www.city.goshogawara.lg.jp/jouhou/sosiki/zaisei.html>